

2022年2月7日

京都府知事
西脇隆俊 様

京都府保険医協会
理事長 鈴木 卓

新型コロナウイルスワクチン3回目接種にかかる要請

【要請項目】

1. 早急なワクチン接種体制を構築するため、国に対し必要十分なワクチンの確保と都道府県への供給を求めること
2. 交互接種等に不安を持つ人たちに対しその安全性・有効性を丁寧に周知すること

【要請理由】

貴職並びに貴自治体職員の皆様におかれましては、平素より住民の生命と健康を守り、また今般の新型コロナウイルス感染拡大防止に向け、日夜ご尽力いただいておりますことに心より御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルスワクチン3回目接種において、接種間隔が日を追うごとに前倒しされているように、国から接種スピードを上げるための方針が次々と打ち出されている状況です。1・2回目で抗体免疫を作ったうえでの3回目接種は、それまで以上の強い効果があり、従来株はもちろんオミクロン株に対しても感染防御レベルまで抗体価を上げることができると専門家も述べており、その必要性は共有しているところです。

接種実施主体となる市町村では、集団接種の準備や個別接種協力の呼びかけ、接種券配送スケジュールの見直しなど接種を加速化するべく可能な限り取り組まれており、敬意を表します。しかし、国からのワクチン供給そのものが早まるわけではなく、ワクチンが届かない以上、接種の加速化への対応には限度があります。

京都府においては、各市町村に対し住民票をベースに2回接種完了者をカバーできるワクチン数が配分されていると聞いています。しかしながら、京都市では市外に住民票のある方たちが多く京都市で接種しており、個別接種においては現段階で京都市の2回接種完了実績の72%しかワクチンが配分されない状況です。

ついては、ワクチン接種を進めるために国に対し早急に必要十分なワクチンを確保し都道府県へ配分するよう求めて下さい。

また一方で、モデルナ社製のワクチンを使用する集団接種会場の予約が低調との報道が多くなされています。これらは、交互接種等への不安を持つ3回目接種希望者に対し、より不安を煽る内容と言わざるを得ません。

京都府が開設している「京都府新型コロナウイルスワクチン接種情報サイト」等での3回目接種の重要性および交互接種等の安全性・有効性に関する情報提供を発見することができず、これではリスクコミュニケーションの対応が十分とは言えません。またサイト掲載だけでは情報を得ることができる人が限られてしまいます。紙媒体等も併用しながら、丁寧に周知を行うよう求めます。

以上